

令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

認可外保育施設の利用者の保育等ニーズに関する調査

<実施主体名>

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

<調査概要>

本調査研究では、認可外保育施設が提供している保育、利用者の特徴等から、果たすべき役割について検討するとともに、保育の質の確保・向上等にかかる認可外保育施設の課題や対応策を整理することを目的として、「検討会の設置・運営」「アンケート調査（認可外保育施設向け／自治体向け）」「ヒアリング調査（認可外保育施設向け）」を実施し、報告書を取りまとめた。

<調査結果の概要と考察>

本調査研究にて実施したアンケート調査・ヒアリング調査を以下の通り整理した。

【認可外保育施設が果たすべき役割】

- ・ 認可外保育施設では、「保育認定があるものの、認可保育所に入所できなかった家庭」や「保育認定を受けていないが子どもを預けたい家庭」の受け皿として機能したいと考えている。自治体においても、保育施設等の特徴に応じて上述のような役割を期待する一方で、認可外保育施設に対して何を期待すれば良いのか明確になっていない自治体もあると考えられる。

【保育施設が有する課題】

- ・ 収益性の確保、人件費の捻出が課題である場合が多い。また、余裕を持った保育者の配置が難しく、研修に参加する時間的余裕がない場合もある。
- ・ 経営的な安定のために認可保育所への移行を希望しても、認可外保育施設のような自由度の高い保育を提供できないことや、立地自治体にて認可保育所を開設する予定がないこと等から移行は難しい。

【今後求められる取組】

- ・ 自治体にて、認可外保育施設の利用者が当該施設を利用するに至った経緯や、そのような家庭が求める子育て支援を整理し、認可外保育施設に求める役割等を明確化する。
- ・ 自治体として期待する役割を認可外保育施設に伝える。認可外保育施設も積極的に自らの強みや特徴をアピールする。
- ・ 子育て家庭がニーズにあった子育て支援を選択できるよう、国や行政が中心となって関連情報も含めてさらなる情報の一元化と情報提供を進める。
- ・ 認可外保育施設では働きやすい環境整備に向けた取組みを推進し、行政が好事例を取りまとめ広く情報発信する。
- ・ e ラーニング等による研修を拡充し、スキルアップを目的とした研修の充実を目指す。